日衆議院を原案通り通過、費等宗二十億六千餘萬圓は衆職等宗二十億六千餘萬圓は衆職

支那事變關係豫算案

十億六千萬圓

一、米穀の贈急措置に属する法律案にか二案を同様委員長報告通り附帶決議を附して可決、同二時十分再開。

大で、目下着々準備中で に対したいが知り、これでは、 に対したいが知り、これでは、 に対したいが知り、これでは、 に対したいがいがいがいる。 に対したいがいがいがいる。 に対したいがいがいる。 に対した。 に対した。 に対した。 に関ことである。 に関ことである。 に関ことである。 に関ことに関いている。 に関いている。 に関いなので、 にので、 にので、 にので、 にので、 にので、 にので、 にので、 にので、 にので、 にので、

法律案然律案

でも提出したき意向

衆議院を通過貴院

衆院本會議

軍需工業品の

國家管理實施か

構築陣地

さを感じさせる

した石井部隊川道乙己大尉は一般で自ら軍刀をふりかざして一瞬で自ら軍刀をふりかざして一瞬に斬り込み、奮戦中負傷

馬廠占據目睫に

目睫の間にありと見られてる

千軍台の戦闘

有利に展開

神田、岡本南部殿は峻路

わが軍の暖い手により天主教

軍司令官の安民佈告傳へ聞か ーンを現出した 名は教會の庭園に集合し〇〇 復を祈るといふ機べしいシイ 舎に收容され安易な日を送つ され双手を暴げて散害し蟲軍

の掠奪に遭ひ騒々競々として【唐官屯七日發國通】支那軍

土民は歡喜して安居

してゐるが、わ

【永嘉鍋七日發閥通】六日頼山西省内に雪崩をうつて進撃

へこの集中爆撃は大なる成功を收めた。集結しつゝあるを發見、直ちに全機一齊に投彈、爆彈は人和鎭兵營に落下敵に殲滅的打撃を與してゐる、すなはちわが○○機は十一時半唐官屯の上空に飛來、馬廠、人和鎭兵營に敵步兵の [唐官屯七日發國通]七日正午空陸相呼應しての攻撃は久し振りに見る明朗な秋晴れの空を揺が

支那軍早く

約一千名を包園潰滅せり、この駿闘で敵の蘭長以下殆んど戦死し砲骸門歯獲せり 【上海七日發興通】軍程道部七日午前十一時穀表 == 〇〇縁の一部に羅店鎭西北

退却

座軍の戦果著し

和鎭兵營、大打撃をう

西軍の大部隊を撃破して

皇軍破竹の勢で進撃

である。わが軍の猛撃に耐え かねて職意喪失の様が地圖上 に退却を示す線となつて現れ に退却を示す線となつて現れ

殷國通」支那軍

黄家宅附近戰鬪

【頁二十刊夕朝紙本】

肛門病科 新克汞楽町二

五十 今村少尉戰死

嘉定の敵加農砲で抵抗

る大工

ロ朝来嘉定の十五サンギ

羅店鎭西北方を攻撃

【上海七日發調通】十三日事 製資牛以來新公園方面にて書 製資中以來新公園方面にて書

占據地毎に出される 我軍の 附近新公園西北方麥根路磯道操作場、北停車場ならびに京滬鐵道方面に多数の砲弾を打込み敵に多大の損害を興へた際飛行見事に上海西北方に飛び來り敵軍に對し爆撃および撥山ない。正午頃には浦東上空を空襲し敵砲兵陣地をたたき潰し午後一時頃には〇機構高線道線沿線を爆撃して敵軍の後方連絡に多大の障害を興へた、正午頃には浦東上空を空襲し敵砲兵陣地をたたき潰し午後一時頃には〇機構時よりわが航空隊〇機は引溯港蔵馬場附近に数十箇の爆弾を投下して陸上部隊の進撃を容易ならしめ午前十一時頃には租界西部に〇機規れ京時よりわが航空隊の機は引溯港蔵馬場附近に数十箇の爆弾を投下して陸上部隊の進撃を容易ならしめ午前十一時頃には租界西部に〇機規れ京時よりわが航空隊の機は引溯港蔵馬場附近に数十箇の爆弾を投下して陸上部隊の進撃を容易ならしめ午前十一時頃には租界西部に〇機規れ京時よりおが航空隊の機は引溯港蔵馬場附近に数十箇の爆弾を投下して陸上部隊の進撃を容易ならしめ午前十一時頃には租界西部に〇機規れ京時よりおが航空隊の機は引溯港蔵馬場附近に数十箇の爆弾を投下して陸上部隊の進撃を容易ならしめ年前十八百万円の 安民佈告

戦時軍法の徹底期し

執行總監を設置 國府、頻りに足搔く

日本側回答に

英に慎重論擡頭

ヒ英大使負傷事件の反響

激戰
廿時間、
遂に
敵陣
沈默

個團を全滅す

空軍又全威力を發揮

ラ兵 新海牧司 (長野 坂縣出身)

の報道に意外の感を懐き、たとへこれが事實であつて今後とへこれが事實であつて今後 アメリカ政府の保護がなくならちとも我々はあくまで支那におけるアメリカの商権権護 のため既後まで踏み止まると

関の干渉業

陸相、議會で意向表明

刀を揮つて敵の塹壕に斬り込 を倒したが軍刀が鍔先きか ら折れたので勇敢にも敵兵に 取り組み青龍刀を奪ひ血達磨

「長辛店七日醍醐通」六日午前九時半○○部隊本部に左の

砲兵陣地沈默

畏も皇后陛下

揚子江航路標識破壞

我を無視

(東京國通) 内閣聯令(

七日

內閣辭令

資源局企置部第一課長を命任資源局事務官

建軍步兵中佐

各國

其の無暴に呆る

にも航行不能に 見文第撃沈して 記書が行不能に

陸軍步兵少年

形交換

2

陸軍步兵中佐

部隊の中條士信軍曹は單身軍の西門大街附近の激戦で安達

香川縣の出身である 発用を遂げた同軍曹は である。

んにわが軍の前進を阻害したが、胸を没する泥海を泳ぎながらこれに迫り、障頭にたつけて敵の塹壕内におどりこんだがこの時法師は勇敢にも遅

地の形勢逼迫しこう

一番に引揚げ決定

、如何にして残留米國人を 引揚げさせるか 、中立法愛動の場合紛争地 域における米国軍職を如何 にすべきか は何處か

米国軍職を如何 の場合紛争地 の場合紛争地

は刻々進展、敵は揚行鎭方面かくて泗塘クリーク線の戦闘

「関連張家口愛」本月四 日日出度成立を見た察南 自治政府、成立記念式當 日の政府と最高委員上于

るが、 明、赤柴部隣長も舌をまいて 一般したことが六日に至つて判 に絶す 職したことが六日に至つて判 まる四日夏家屯の白兵職にお

大、傍にあつた師は「 た、傍にあつた師は「 た、傍にあつた師は「 た、傍にあつた師は「 た、傍にあつた師は「

に對し終軍抗議を行ひ損害に対しが正常ないに責任者の機能を悪いに責任者の機能を悪いる。 まずる 皆の通牒手交した、こ

る旨の通牒手交した、こらびに責任者の處嗣を要

水藻に據り地形を利用

血達磨の奮戰

中條軍曹壯烈な戦死

明した
は大力を変化に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まり陸家宅に進出これを占まりた。

寫眞說明

日蓮宗從軍僧武

勇譚

タリー外務省にチアノ伯を訪れてルファンド氏は六日午後イベルファンド氏は六日午後イ

一門敵兵と共に窓中に

法衣まり

要件である。両者こゝに衝突フロックの完成、東洋平和のこれざるを得ね。日本の確保が日蓮の確保が日蓮の理解が日蓮の場合の主要を表している。

敵軍揚行鎭

影響を及ぼす状態となつてもなつて現はれ、またソ聯の極英、米の對立と角逐の激化と英、米の對立と角逐の激化と

【上海七日發國通】六日界資源

進の命令をなしつゝある(午前八時) 進の命令をなしつゝある(午前八時) 進の命令をなしつゝある(午前八時) 進の命令をなしつゝある(午前八時)

未曾有の程度にまで激化 a立が尖銀化し、そし なが尖銀化し、そし

ト火蓋を切る

砲擊

線本部隊前進

雄、江島正三南中尉は名譽の副を樹てた安達部隊の金山利

あり、英米は必然にお不資本の快よしとした

な確保した薦森、石井南部殿の一部は同日午後さらに残敵を掃蕩して前進壯烈なクリーを掃蕩して前進壯烈なクリーを開源して前進壯烈なクリー

敵主要陣地

おが砲兵は房山東北方およ 智し六日午後二時より三時 割し六日午後二時より三時 か方はこれを全く沈默せ

小癪な敵の仕草

各所を爆撃

說

人使負傷

件

今次の支那事變が、その直 接の動因は徹頭散配支那側の 不法行為と挑戦的態度にあっ で、日本はやむなく膺懲のた めに立ち上つたものであるこ とは今さら繰り返して述べる 必要はない。しかしごの事變 を今日の陰悪な國際情勢の一 要として觀察することは極め て肝要な事であり、それによ つて今次事變が生ずるに至っ た背景をも知ることが出來る を背景をも知ることが出來る に立ち上の本語を関係情勢の一 な背景をも知ることが出來る に立ちとの事變 【東京園通】ヒューゲッセン大使負傷事件に闘する帝國政府の回答は六日午後六時外務省太田事務官が英國大使館を訪問、之を手交した、右回答の全文は七日午前十一時外務省において登表をみたが回答者において登表をみたが回答者の知して登表をみたが回答者が月世九日附ドッ学代理者八月世九日附ドッ学代理者八月世九日附ドッ学代理者八月世九日附ドッ学代理者八月世九日附ドッ学代理者八月世九日附ドッ学代理者八月世九日附ドッ学代理

帝國政府の回答全文

1開下 サイン ロバート

弘毅

英國官邊は失望

ン六日愛國通

本側回答に

僅か三時間

敗のに

過ずるをみるや銃をかなぐり 捨てゝ敵の遺棄死造に静かに

日清汽船救済は 事變終了後行ふ

日本から速

唐官屯占據

殊勳の部隊長奮戰談

とソヴイエトの抗議を一蹴して非ず

世大廟少尉は名譽の負む大新巷宅附近の激嚴が大新巷宅附近の激嚴を開する鈴木暉 近大新巷宅附近の激 等書記官

ソ聯對伊抗議

獨官邊を刺戟

政府の對伊抗温提出

タージュをやらりとしてあるが、消息筋ではてあるが、消息筋ではは地中海沿岸國會

を延長し、十月一杯休校するに決した おにつき現地側では各圏校の生徒の大部分は内地へ避 地の學校に假入學し學業を 地の學校に假入學し學業を

次に向つた、今月半一時十分競あじあで 分書記官へプレス・ 滿支視祭中の駐英 六日植演出

臨機應變對處す

日支事變問題に關して

大統領記者團に語る

敵彈を身に当

浴び

敵兵七を斬り倒す

壯烈鈴木中尉戰死

が協議の結果、更に体限期間 「新り倒した石井部除○除長鈴」 弾を受け名譽の般死を遂げた経み九月中暑中休暇として休 て突入、身に六穀除の弾丸を 遂げた、また同中尉と共にଶと関立各學校はさきに時局に 近の敵陣地に敢然軍刀を郷つ め頭部を射たれ壯烈な駿死を民國立各學校はさきに時局に 近の敵陣地に敢然軍刀を郷つ め頭部を射たれ壯烈な駿死を民國立各學校休校 (上海七日邊國道) 五日午前 木正英中尉は更に一人の敵を関立と

用して愛用のヨット 八日の勞働日の休日 八日の勞働日の休日 の休日

株

尚况 欄 後場 式相場

汽船撃沈に

聯の抗議

伊國一蹴す

は今回特別市活和期間百三號編井貞では今回特別市活和期間百三號編井貞 福井氏の寄附 陽東局事務官被仰付 關 根 陸軍步兵中佐 久太

野浦事務局旅務保勤務を 対 田 中 武 マ







病室、本館、別館入院隨意 次器 田 病 [見晉看護婦夢集]

京建網路側一〇(白山公閣南側

明の例祭はいよく来

なに官職を現はするのであ なに官職を現はするのであ

好感が持てぬ。聞いて歌識を發揮したものと

協和會。當局、

各班員海拉爾出發

開員及び貨物輸送に開する件

世珠爾廟定期市に

件の首戯鏡宮湾(五〇)は「癒の捜査網を遭れて各地に轉二夫人一族の滿識列車順覆」就を見届けた上素早く日滿官日記事解療となつた張學良」去る七月廿一日列車順覆の成

潜伏先の知人から申告さる

一鈴名出席の筈で

ペスト蔓延の兆に

防疫當局大活動

京白線乘車を禁止又は制限

-上海特別市に波酸

生催の移民團長會議

一方天津郊外偏流鋼、良郷一方天津郊外偏流鋼、良郷 薬、上海停職地區内に兵力 薬、上海停職地區内に兵力 を増加露骨な挑戦的態度を とるわが第○艦隊は兵力を とるわが第○艦隊は兵力を とるわが第○艦隊は兵力を

民保護斡策協議會開かる 雑命令發せられ、各國居留 備につく、英國在留民に課 攻撃陣形を整備、停職協定上海方面に中央軍績々集結 人避難開始、わが陸職隊配 共同委員會成果なく

場子江封鎖さる、國府モラ面より砲撃し來り、わが軍面より砲撃し來り、わが軍面より砲撃し來り、わが軍

胃島沈市長、

水一八月十七日一塘沾西南方小站

元換算を含む) 北 鮮 七萬恵(同右) 北 鮮 七萬恵(同右) 五 一萬五千地

我空軍の 歷史的爆擊

めて中央軍第八

大損害を興ふ の北部山獄地

帰職機・九江の敵帰職機・九江の敵帰職機・九江の敵帰職機・九江の敵原族艦オーガス 一哈察爾作戦軍張 一哈察爾作戦軍張 一哈察爾作戦軍張 一哈察爾作戦軍張 一島上空に 山東に中央軍進 山東に中央軍進

日平綏線要地懐來、これら兵器場を爆撃、これら兵器場を爆撃、これ

Δ

関東局扱

防

番ナカヨシ

事變南支に 下中佐は香月司令官に聖旨 養腿、養骸を捧じ來津の木 養配、養骸を捧じ來津の木

關係各方面を網羅し

五日より開催

辰氏宅に立寄つたので曹は大いに驚き直ちに昌岡縣警察に急報したので、同警察副園珍 張辰園園刑事がかけつけ、これと知つて馬車に乗って逃走 せんとする銭を追跡、同日午 後零時頃昌岡縣外小二十家子 附近で大格闘の上つひにこれ を逮捕した、取割の結果犯行 を逮捕した。取割の結果犯行

あつて九月中の輸出見積高計・九萬萬

日本向 二萬略(同右、豆 行は樂觀を許連合尊) 連合尊) 山積してをり 山積してをり

移民國策を全面的に討議

資源の保護助長に

競馬

第二次の原

勝戦

四日朝知人昌國縣城曹

臣民として直接兵役の義務な一において精神間島在住半島人は等しく帝國一く第一線には

には勿論物質

愛國機同島號

海浦の殊勵者兩刑事に對し率 行した、なほ勇敢に犯人の潜 行した、なほ勇敢に犯人の潜

間島在住半島

大議した、現在献金の重なるものは大の通りであるが、これを筆頭に約三萬圓は既に内定してゐる
本三千圓一龍井金鑛業権秀吉本二千圓一延吉有志雅石馬、本一千圓一延吉有志雅石馬、本一千圓一連春有志雅石馬、本二千圓一種十有志雅石馬、

列車顕覆事件の首魁 錢富淸を逮捕 關する請願

木材同業組聯が關係當局へ

本材工業振興のため資源の保 護助長に開し六日左の如く精 護助長に開し六日左の如く精 運を關係當局に發した 一、國有鐵道木材運賃瀝減に つき請願(總局長宛、交通 監督部長宛) 監督部長宛) 監督部長宛) 工、木稅撤廢にづき請願(産業部大臣、陽東 軍司令官、林野局長宛) 医督部長宛) 工、土稅撤廢にづき請願(産業部大臣、陽東 軍司令官、林野局長宛) 工、土稅撤廢にづき請願(産業部大臣、陽東 軍司令官宛) 本野局長。関東軍司令官宛) 本野局長。関東軍司令官宛) を演じ優勝戴馬の豪華な場面を演じ優勝戴馬第二次の優勝レー新京戴馬第二次の優勝レー

旗日に

思まれて賑

かっ

閉幕

東北、馬主宛葵 東北、馬主宛葵 東北、馬主宛葵

海四歳馬外馬に ・一歳馬の秋抽に ・一歳馬の秋抽に ・一歳馬の秋抽に ・一歳馬の秋抽に ・一歳馬の秋抽に

△第一巻馬で川で 第八

五〇秒四〇、五〇秒四〇

等七2

H

目

成績

手の力量を見事に發揮し本命 當日に於ける成治等の力量を見事に發揮し本命 當日に於ける成治等に対し、當日は同格 君、第十一競馬連行して番狂せも余りないが 中君、第十二競馬之に頗る興味あるレースに 髋、馬主穴澤裏に対し、手松末君それと 手が末君それと 手が末君それと 手が木君それと 手が木君をれた ある第二次の榮

向った 南十數臺のトラックに分乗し て海拉圀出設甘珠蘭の曠野に で海拉岡出設甘珠蘭の曠野に

大豆の先行 樂觀を許さず

酒精専賣制は

すなはち生産にはご すなはち生産にはご はじめ民間既存のT

とに内定した とに内定した とれが收納お におものであ である。 酒精を

製造事業法が實施後重か年年 を出でずして既に幾多の支障 を楽しつ」ある實情に鑑みか く漸進主義をとれるものと見 られる

地しめ、さらに酒精事費制を 協議中のところの 大樹立し、現在年達六千地よ その他各關係當 の一翼とし 布くらとに決定 を樹立し、現在年達六千地よ その他各關係當 の一翼とし を樹立し、現在年達六千地よ その他各關係當

び形式につき

市部と記

らも献金

泡

北の間で変にいた。

心とする空陸戦線活 一大島間金は相難いで を示してあるがカ月 四日までに駐滿海軍 られた献金は左の通 島省龍井街よりも

店組合經拔一同 金三十圓、新京稍荷神社氏子 一一同 新京稍荷神社氏子 一一同 新京稍荷神社氏子

何にもゆつたりとして、りのない費つけーーこれ

い中年の御婦人――ことに家庭の奥穂方は、・・・・中年の御婦人――ことに家庭の奥穂方は、そうですが、若い時には見られない魅力がものですから決して悲観をなさる必要はない。

京)

〇〇經濟市況 (大連。新

唄

帶を上にしめるのは悪趣味

その乳歯と永久に

早期診斷、

心順序と時期です たいのは、このも たいのは、このも

お

洒落にも

が、身だしなみによつてもつくり出されるものでありまが必要です。それは勿論人格のあらはれではありませらの念を抱かせる内にも世なれた、親しさのあふれた態度

ると、乳歯の根は永久歯の**胚** もの顎の中で永久歯が發育し まの顎の中で永久歯が發育し を文替つてもよい時分—とな

共に、そこか

永久齒

極めて自然に「

疾患が進行

進行して歯の髄に炎症

(後〇.

OH)

出演は曙連中

時九後 建久四年五月廿八日夜 (京東東) の思ひを遂げる営仇工 を急ぐ途中三ヶ所の木戸にぶつかる。此處は狩場切 を急ぐ途中三ヶ所の木 で高で 高いで 音感する。 魔が幸 でんたいので 音楽する。 魔が幸 でんた川 越類重の家来の情を きつて通行する事が出来た。

(参川光圀・作)

礒部賀堂

育龍輪未だ雲霄に昇ら

んで神州側客の腰に

な第三の木戸へむかふ。所が 通行出来た。喜び勇んだ二人 の計ひにて二の木戸も無事に

再房壁にせんと欲す

行や許さぬので

やがてボロリと脱け落ちると

し歯の養防は、子供が「歯がし

長

唄

澁味と深さを

傷つけます。何より必要なことは、上半身のゆした驚つけです。何より必要なことは、上半身のゆした驚つけです。

身のゆつたり

よる根の吸收が完全に行はれず、永久歯は出場を失つて他があた作り、それが原因となって、防近所の歯の行列が乱てれて、いろくくな隣ひり重と

強者がいつまでもきびしう でがいますが、さすがに秋の 食品はだんだん田でまるります。秋崎もそろそろ脂ののつ て來る頃ですからけふは秋間 一本を、よい身のところや頭 や骨などのところまで、それ や骨などのところまで、それ

【材料】(五人館) (ごく小さい切り五切分) 育液 五本(薬光きの方の 青いところ) 赤いところ)

大根四分の大根四分の

一本(中位の

分を用ひます

薄鹽をあてた鯖を饒いたもの 響 油 数 滴 数 滴 少 々

断を入れます。

商煮し味をつけ

秋鯖一本の料理

きのところを利用立 一、燒臍の味噌屋

落ちの骨つ

施を合せた計

潜り味噌、 階り味噌、 階

これは背肉の脂肪の少いとこ

季

節

料 理

齲齒の豫防は 幼兒のときから 拔り替りが大切な分岐點!

容見り引きれるのです。 を関へるから、天使化して 関女となるのです。 を関へるから、天使化して

の大切な歯の中でも、時に容貌の問題は第二として、こ

大切には「第一大臼歯」

4日なし ら、あの乳幼兒の顔を御覧なさい。するで天使のやうに美しいでせう。これは乳歯といふものは「帶圓れは乳歯といふものは「帶圓と云つて、とても

親達は

一一子供さんに将来

そさんを持つ を起した。所謂手遲れの時期

第一業章アンダンテ・

クロイツア

じ。

奏鳴曲

合なし

大切が顔を歪めたりして、殊に婦人などでは、何

十パーセン 候の變り目 、むし歯ならざる者なしと言つて差支へなとまで云はれる有難くない代物。何しろ罹とまで云はれる有難くない代物。何しろ罹とすで云はれる有難くない代物。何しろ罹

容貌の障碍も來す

り顎の殺育に就ても中心人物をといふべき程のもので、物をといふべき程のもので、物を

之がもしむし歯に罹

六、旅巻の家 五、、李の踊り 五、、本の子守唄



































獨奏(東京)

討

曾

柴田南玉さんの講談

ロネーズ 【《伯母を敬ひ頭を下げ、さての一と間に(三重)請じけるの一と間に(三重)請じける き給ふ「さしもに猛土度なも

きかく、金作

長三つ

ふの番組 八新京放送局 「新京放送局」 大、二〇コドモ 最近ハナチス 最近ハナチス

七、〇〇ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組後告(新京)七、三〇講演七、三〇講演

人、一〇秋の虫 =仙台市外臺 の松崩近より の松崩近より (但荒天の為 送出) 合南局より俚議 高柳保太郎 東を聽く(仙台) 東を聽く(仙台) 東の原 牛冥想 第の原 牛冥想 (京東)五二・八後

東京では可愛らしい主題が大々と六度變奏される。第二學章が有名な「トルコ行性中である。第二學章が有名な「トルコ行性中である。第二學章と記述中」で、管絃樂曲にも編曲である。第二學章と記述を申にも編曲である。 第三樂章 第一樂章 アンダンテ ルコ風に

個者かなと、 ことがは ない といい でからが 思ならずや、 思を知らぬは人ならず、 エ 、汝は 邪 屋勢七郎さ を敬ひ頭を下げ、さて (左)百々柳、君勇、長三3と敬ひ頭を下げ、さて (左)百々柳、君勇、長三3と敬い頭を下げ、さて (左)百々柳、君勇、長三3と敬い頭をいいて (左)百々柳、君勇、長三3と敬い頭をいいて (左)百々柳、君勇、長三3と称いると称いの音をいいて (左)百々柳、君勇、長三3と称いるといいでは、ないの音をいいでは、ないの音をいいの音をいいます。

らざるや (合方) 「病は窓

重ね暖ためて、

取返さん其為に是迄來ると知我こそ英木童子なり、我認を

抱き育てつ の暑き 玄多素雪の寒き夜は(合 大第に(合)面色變り(合)水第に(合)面色變り(合) 忽に、鬼神となつて飛び上彼の腕を、取るよゝ見えし (合方)破風を蹴破り現 身の毛もよだつ(合)

一、○○鴻語ニュース・講像・音樂 峰、丹波丹後の界なる鬼住む しや) 本調子 いやとよっ のほど、凡そ天下に陸れない のほど、凡そ天下に陸れない りそめに、

第二樂章メヌエット第二樂章メヌエット第二樂章メヌエット

上り「先づ筑紫には 白峰へ合、河内に葛城、名に大

ずるにて候「御酒の機嫌を

ドライララを除時商 午前十時時分は午後配達 朝日通り深町病院前重

O

事務所移轉御通知

上げると云ふ夜討會我の一席を知り首尾よく航經の首級を 農工機器 水道炭 湯 土地 大道炭 湯 技術正確 科性病科産婦 豊楽路モンテカルロ降電ニ、一三二〇 ◎今般事務所を掲記の通り移轉仕候 向議人ニハ頭討り要せば 鑛業法二 般測量 及製圖 國都に ある全新京の夜景を俯瞰して 新線の國都を又月ありネオン 味 覺 の 魅 力 的 感 覺 1 石石山山 美観云はん様なし! 責任出願 出前の カナへ商會出張所 誇 工場 事務所 满洲 鑛業 社 新京八島通四四 3 正規製圖並出願手 主 辨理士 電の三二八 人科 は 新文 (3) が 土方龜次郎 西 三町 Ξ 三人 珥 *-0

樹屯より

京でめつたに見ない二頭馬 来た。間もなく頂上に着いた分乗し、白玉山へ向つた。 バルト色に進んだ海も望めて伯さんの案内に依つて馬車 てゐる。 膜界は大第に開ける 新京中學臨海生活記錄

れる。乃木英雄が苦戦に苦戦 かな景色は職争を物語つてく り、昔見る。

者をしのばせる。空と海 空と海 再び馬車に の時の事を考へて見れたのだと思つた。日本たのだと思つた。日本

四、三〇経濟市況(大連・新四、三〇天氣機況 五、二〇ニュース(鮮語) 田支事變と闕際的動向 甲 榮 雨 中 榮 雨 中 榮 雨 ・ 、〇〇子供の時 の子供の時 ・ 、〇〇子供の時 ・ 、〇〇子供の時 三、四〇經濟市況(東京) 三、四〇經濟市況(東京) 京)

野茶の窓

杵屋勢七 長百金 三柳作 郎勇

合「網は七日の物忌みして、一寸仇をなすなりと、陰陽の博力、陰陽の博力をなった。 なし、門戸を開なれる「既

常きにけり 合「門の外面に 仲みて「如何に無、津の國の 信母が遙々参りたり此門開き は綱の醪高く、遙々との御出 でなれど、仔細あつて物忌み なれば、門の内へばかなはず | 守みて「如何に練、準の國の 着きにけり 合「門の外面に 一

) 老の力や仗つきの、乃字の、八字の

白く庵に木瓜の紋ついる 御本陣より未申 花田色に

東京無線

対屋へ戻られる途中で

慨義に

遺烈千載 痕を見る

×

三代の忠勇楠氏の門 容易に汚す勿れ日本刀 (廣瀬武夫・作)

新京日本統領事館前 **禁港高秋福雄** 桑野四郎 有川藤吉

回第三十

會展評

太

はれて、そして何にがしたいのか、これでは批評の致いのか、これでは批評の致いが、失題の眞黒を持ちないが、失いでは、というには、いわいのをもつてゐる標になる。

ならない。俗流

馬の顔は重い

コロのコー隆

大 スのダループが高田馬場の丁 大 度戸山の原の裏あたりに狭い 大 度戸山の原の裏あたりに狭い 大 度戸山の原の裏あたりに狭い 大 度戸山の原の裏あたりに狭い 大 度戸山の原の裏あたりに 変んで つたものは誰でも知つてゐる ったがフォワーに比べて バックは打ち慣いものと エれてゐ りは打ち慣いものと エれてゐ りない こ 藤田四郎は 共の例外 の一人だつた、然も例外の烈いの危が氣とはうつて要つてバックの素晴らしさは言にば病がの形えとも思へた位だつたテニスの歸り、其の日コートに來なかつた彼に省標電車の中で一緒になつたので

本會へ 本會へ

京面治療後 宗列返金 宗列返金 宗列返金

刷印

3

慢性語病

の百貨店

家傳名文

祝町三日七銀座所道

い高御

大連汽船株式會社 新京事務所

原西部田田

淋病 梅雷

永榮町八島小學校前積入 會員 大·募集

みどり茶園

つが 特に皆様へ 気の立喰 水の立喰 新京銀座裏通り 新京銀座裏通り

認公

話即時金融

格名其他多額食 管費買は老舗 なる當社へリ

東一條通り四

整骨院 彩

温騰し下痢胃腸病を撥防 大品特長美味最も小兒に 改養孤壯 | 図光 三四式 三五式 自 動 車賣物

日本タイプに合教授 日本タイプに合教授 日本タイプライター議州 菅沼タイプライター議州 菅沼タイプライター議州

タイピスト集券

カキにて御から 台 速型切一扱取 极利便貸賃話電

目科業 ◆金融即時長期秘密 質入れ 金融 賣買 九/一町船入 七六二大①皇 店話電本荻

1111100

本 時 節 勝 疾炎病

ロイマテス

吉光堂療院

電の電話用達 土地建物會 ・さいべりや丸(月三回) 毎・一次・日田帆 毎・大・日田帆



合理的な同人誌ならば、治外 を 私も氏と同じく、新聞紙法 南 7 1 の效果小説 大鹿卓「操義日記」し

「探鎖日記」大鹿卓(中央公論九月號)」これは相當力にある。
一年島列島の一つらしい島に砂金を探りに行く坑夫たちをの前に特殊な男女闘係を持つ二組の人間が現はれて来る小説は専らこの二組の人間を指き出すことに勢めてゐて北方の荒々しい自然のなかに、そのやらにして限ったが、一人の人物を通じてこされてゐる特殊な人間の生活態。確かに力を籠めて描くれを描くといふこのいはば一人稱小説の形式が果して效果的であるかどうかは問題とされているであらう。先づ近來の讀々ごたへある作ながらこの疑問は残るのであつだ。 他安全して立つてあので、 は今更の様に氣附かれたが、 は今更の様に氣附かれたが、 は今更の様に氣附かれたが、 は今更の様に氣附かれたが、 は今更の様に気耐かれたが、 は今更の様に気耐かれたが、 は今更の様に気耐かれたが、

現立馬路無電臺下東三馬路無電臺下東三馬路無電臺下

③六四〇二

全年 清流小皷 幸清流小皷 東京流路曲 教授 東京所説町 太子 堂 東京所説町二 大一カパン店

接骨院

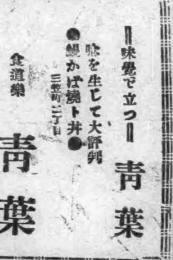
其他家傳良職あり 三笠町一丁目二四 奉仕堂藥房 助膜、腹膜、 胃涵、胃潰瘍

スポートリョセ 極安値に出來ます 凉氣の折 ③三九三一番



商店金庫部

門司、神戶(犬阪行) 《全印は腹島寄港》 等天丸九月十二日 書籍九九九月十二日 市林九九九月十二日 市大九九月十二日 市大九九月十二日 市大九九月十二日









賞出 格安あり

7 をなさざる品をなさざる品で、 一五

の準備有股合 3) 二七四七 る運搬

二泰公司

菓子 央 通





即時配達





看板

帳簿專門 三省堂製本所 **修** 管 企 整 定 定 定 定 定 元

計 油 院 满

騰寫・代書

千歲九州行

行船車連絡切符を ン無比 最 新 京 普 少日 式+ 快 速し 五種八十 取

入會隨意慶應看

護婦會

六五〇九

堂療院 はる



電話 ※五六六九番 六六九番 遺婦會



经浦









温泉閣

電話③二三八七 五

淡路丸 十日、十日、十日十 州行近道

日、十五日、廿 郵船

五日



(日 曜 水)

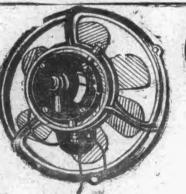


丸重洋行支店新京富士町四丁目ノ四新京富士町四丁目ノ四 引越荷作業

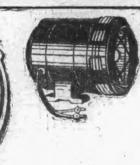
下水道の故障

おからの一番の一番の一件である。 て虫歯の 美味しく 強防にな お友達 パナナキ 新高の 嬢ちゃん ヤラメル 新髙の

御靴の御相談所タケャ科に



宿氣換立日



相單用事態 ルトモ立日



JN-16

鹼石ッキ十用實



五四五三③話電。五四通橋本日京新

代表熱辯に彷彿

盟代表報告講演會賑

南下の機會を伺つてゐたもので を表に下車、僞名を以て見に を表に下車、僞名を以て見に を表に下車、僞名を以て見に

見出來す七日領書館 利内衛に捜査中でも 見出來す七日領書館

客に 関に 等取さ 関に 等取さ

滿支皇軍慰問

大塚師第一線巡訪に來京

彈除不動の

お守持ち

づれにかまたしても姿を晦してしまつた、 領際署では直ちる、 荷仄開するところによれる、 荷仄開するところによれが 東京に潜伏して内地へ高飛び新京に潜伏して内地へ高飛び

寫眞機を恣まる

在大病像防に備へて新京署衛生保では来る二十日より二十六日まで減緩支社/共同の下に狂犬病強防週間を實施すること」なつたが週間行事の具となったが週間行事の具

のに逮捕されたものであった。非洋服店内を徘徊中級天場員

数辯を振ひ聴衆に多大の感銘 して同十時處會裡に終了した 【寫真は滿室の聽衆と熟辯を 振ふ高柳理事長】

皇軍慰問

金募集

琵琶と

映畵

無属下目無責生山明 大塚良悟師は七十余 いするに忍びずと平 の御守札を大トラ の御守札を大トラ のの皇軍慰問に着事 の皇軍慰問に着事

文起(二七) は去る五日日の 出町一丁目十六番地東邊號旅 館に止宿中の満洲國人喩社氏 の室内に侵入して支那衣類他 より乗車したところを新京署 下収調中であるが旅館客荒し 専門で餘卵多数ある見込みで ある

日夜西廣場俱樂部開催

怪盗敷島高女に

北支皇軍

の最前線

彩多よ愈念記設建 合唱 非常時士氣振興の音華 巾中音樂大 白名編成のブラスジ の夜に次ぎ

空前、長蛇の豪華演奏

豊人組で 强奪

かったがこれを機會に非常時國 大一樂行進を暴行するため十七 人民の士氣を鼓舞するため十七 大一樂行進を暴行するため十七 なつた、この日百名のブラス たパンド午前十時新京神社に集 合蜿蜒長蛇の音律の列は附屬

未練がましい

中片割

護送途中

いてありますかい只今 にすぐお願ひして調べ にすぐお願ひして調べ で

氏名及日程

の氏名及び日程は左の射物京着解園の選定である新京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。 が京着解園の選定である。

關東軍献

金總額

十萬一千圓を突破す

國防會館建築

全妻・繰り展げられた戦線に 着去りで漸く秋光す候とは云 なもの」支那軍の反抗は筆舌 に張し難きものあり全日本國 に張し難きものあり全日本國 に張し難きものあり全日本國 に張し難きものあり全日本國 に張し難きものあり全日本國

軍慰問團 間に賊は忍び込んだの死 は十二時に校内をして いたといつで の優別とも申されませょ

は七日午前七時頃前借八百四年からので複主角田サヨさんより新京塔に捜査方願出た。 協有内は最近仕替すべく運動したので複主角田サヨさん

(=

眼

鏡。双眼鏡は

専門店清眼堂で

〇〇部殿發表=六日早朝共産 正の本據を潰滅すべく桓仁、 八里甸子を出發せる木越部隊 小泉部隊の主力は同日午後四 小泉部隊の主力は同日午後四 小泉部隊の主力は同日午後四 小泉部隊の主力は同日午後四 小泉部隊の主力は同日午後四 大里旬子を出發せる木越部隊 産匪を追撃中 通天《奉

御指定

場廿五周年記念

皮膚保護· 外傷一際·

品

3

雜

三笠町

m

0

六二

九二 Ξŧ EE

.

行

樂設計要領の説明あつて午後 中 南端洲鎌濱株式倉社公主遺長 市満洲鎌濱株式倉社公主遺長 に相當するので、これが記念 に相當するので、これが記念 に相當するので、これが記念 に骨強、二十一日より二十 日より 二十 日は午前十一時 とり左の式次により發育式を

> 全 稱 有 名

講師東

萩原編

物學

派遣講師

香女史 來

り希望の製品が

期間

九月十日より十

下四日まて五日間

サ四番地長春寺前(曙ビル「階) Mの大II tow

各薬店・化粧・百貨店にあり

物講習命

會

開

では、別會の解、一、開宴 では、別會の解、一、祝電的 一、來賓說解、一、祝電的 一、來賓說解、一、就電的 一、來資說解、一、就最易 一、別會の解、一、試驗場

新京署でも

狂犬豫防

青木課長奉天

外に常服裁斷調製の衛治文に無い子供服、婦人服科、婦人服科、

隨意研究科

致します。

殺した 教徒と で本天に向ひ出

6

せ

會葬御禮

芳野た

名代の支那料理

杉浦灣二氏近く大分縣人杉浦灣二氏近く大分縣人杉浦灣三氏は九月三日双陽で死去満京大分縣人會毘に附し六日歸來同夜は曙町帰王寺で通夜、八日午前十一時同寺で離儀を營む

吉

錦雪町三丁田裏語

候間此段謹告仕候れ月七日午後十二時十分永眠教刑妻ハル儀豫而病氣療養中の處

及堂院公益

花輪其他の御供物等は堅くて都儀は九月八日午後三時

、御蘇退申上候の式相營み可申候の

本事官金井 ・ 大きを選轉して役所から役所 ・ 大きを選りた。 ・ 大きを選りた。 ・ 大きを選載を表して ・ 大きを表して ・ 大 場所 清和胡同七一六 関取 六、四半、玄陽二叠 八、四半、玄陽二叠

と 二 六 五 一 五 一 二 六 五 一

表表

花穴古山上久中榎

し捕る 生れ住所不定美

が東町生れ菊内カッ(二六)の家抱酌婦本籍跨岡縣田方郡

で逃走 か倒し

邁進開催に

連鎖街 電話③三四中央通(西公園前)

二五

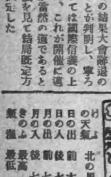
明和十二年九月八日 明和十二年九月八日

(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)(御仰越し再承次第零上致します)

十日より三日間移轉披露さして全商品一割引にて御注文に應八日、九日兩日は移轉其他準備の爲め休業させて頂きます (本店大連連鎖街) 京

東京大會は開催

東京市の態度















整館の動機に配いた、

員無な協物の、 別性にスラー

したが、酸くも酸けて、パッタラ

影鳴もろとも、わづかに身を配

夜の間にまざれて、鷺に城内へ沿

それは極動でもなんで

込んだ大任軍平だったのです。

と数式器所の

電(3)

四差

年中無休

(8)

六四

题

人能も動かず、まるで死の作家のやってす。その中を、我物動に狂

大上数に働りかぶつとが先が知

の舞城内でも、灯彩もなければ、地下の様々はが歳のこと、高端

事を伸ばして。 酸の形を取ら

その日は、大煙な楽風雨で、赤

摩名の山々から城下を目がけ

えてしまひさうになった。 税もとの行性が、他に私をして相

吹きつけて來

東京十五年十二月十日の安でし

ッと部屋の中へ流れ込んで来て、 と思つてゐると、船たい観がスー と思ってゐると、船たい観がスー

うな強雨も加はり、それが夜になる烈風に、小砂利を叩きつけるや

中で学身を思すのと、

前マネキ京新

で天地も、野地さへ加はつて、

新

京

崇

智

路

大

8

E

話

六

0

な。 たはち城内へ 忍び入るのに屈った。 たはち城内へ 忍び入るのに屈った。 たばち城内へ 忍び入るのに屈った。

が、まさか販が温び入った

ならず段本のことも無にかる。 は思ふものと、際宮小十郎等の、

ら、死しやつて見れてゐると

の機會を組つてゐる。



(禁止) 竹中 長等

が絶好

0

機會

!!!

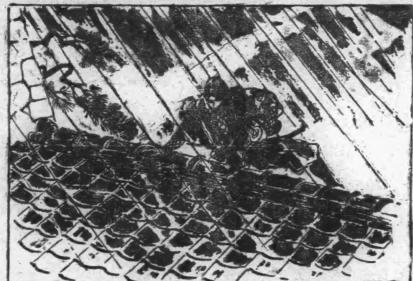
で、城下の時を、置らなし粉き騰くても、用の有るやうな撮をし、用が電がは少しの部隊もなく、用が てれた続けられて、少々大きな足

江戸を立つ時、お観に難んで来 その間に、城内へ恐 結てわたのは、花房留人といか四 をの夜、野士船所に営者として 十年輩の御館用人を勤めてゐる士 管をしても、めったに使しまれる

あまり展開が想しいので、なかな、 一般の でなった と、 と、 と の で なかな **智人は、寮味に強入ってるたが**

一、入學資格高等小學校卒業程度 一、本科生四ヶ月卒業 一、本科生四ヶ月卒業

邦文タイピスト養成所 11年 (3) 三八八四条 (3) 三八八四条 (3) 三八四条 (3) 三八四条 (3) 三八四条 (3) 三八四条 (3) 五六八四条







3

雜

俗



式作理造

信

あ

る

少に不



關東軍司令部御用達●



室貸

*、入浴の設備あり

